

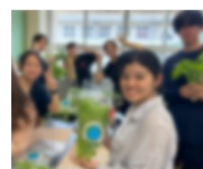
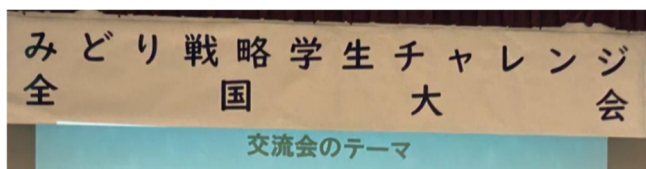


沖縄県立美里高等学校



美里高校便り 令和7年2月(2号)

GGMM 探究部(2名)が「みどり戦略学生チャレンジ」農林水産省主催に出場しました



2月8日(土)に農林水産省で開催された「第1回みどり戦略学生チャレンジ全国大会」(農林水産省主催)に沖縄ブロック代表として2年生の比屋根愛梨さん、湧川梨理さんが出場しました。参加プロジェクト名は「ベジカラフライデー」で、「廃棄される野菜を救い出す」ことを目標に、地元農家と提携し、野菜版ブラックフライデー、「ベジカラフライデー」を企画・実施しており、この活動は地産地消の推進、フードロス問題や環境問題の解決に貢献できると考え、普通の高校生でもこのように社会問題に参画できることを周知したいと取り組んでいます。高校の部の応募総数は221プロジェクトで、全国大会進出は21プロジェクトでした。普通高校の参加は2校だけで、惜しくも入賞は逃しましたが、大舞台での発表や他府県の生徒との交流は大きな成長につながりました。



ベジカラフライデー



沖縄県立美里高等学校

チームR 比屋根愛梨 湧川梨理 比嘉彩葉

1.目的

「廃棄される野菜を救い出す」べく地元農家と提携し、野菜版ブラックフライデー、「ベジカラフライデー」を収穫から販売まで企画・実施し、フードマイレージの削減と食品ロス問題の解決に貢献し、地産地消の推進をする。私達高校生でも社会問題に参画できることを知ってもらいたい。

2.取り組み内容

- ①廃棄野菜への取り組みを知るために関連企業を訪問。
 - ②食品ロス問題に取り組む起業家と商品開発。
 - ③活動資金を確保。
 - ④ベジカラフライデーの企画・実施。
- 識名農園さんと提携し、供給過多の時期にベジカラフライデーを行う。
 - 収穫や販売のボランティアを校内で募集→人手の確保。
 - 第1回→2024/5/14本校にて、第2回→2024/8/1うるマルシェにて実施。



図1 識名農園さん



図2
プロGRESS31さん



図3
バトンカレーさんと
企画会議中

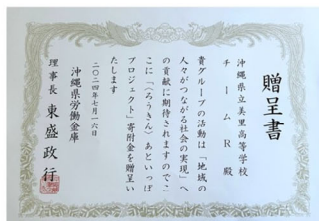
3結果

- ①運送業のプロGRESS 31さんを訪問→廃棄野菜に特化した食品加工部門設立
→「農家さんが作った野菜はみんなA級！見た目は関係ない！」→社長さんのことばに共感。(図2)
 - ②バトンカレーさんとコラボ→識名農園さんの野菜を使ったレトルトカレーの企画会議中。(図3)
 - ③ろうきんあといっぽプロジェクトに応募→10万円の助成→活動資金の確保。(図4)
 - ④ベジカラフライデーを企画・実施。(図5)
- 収穫から販売まで高校生だけで行う→農家さんの仕事の大変さを実感。



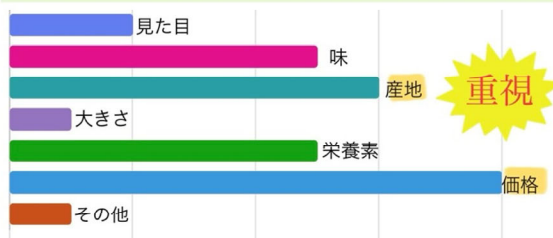
図5)収穫から販売の様子

- 高校生ボランティアに「ボランティア証明書」を発行→進路活動に活用してもらいお互いwin-winの関係を構築。
- アンケートの実施→消費者は価格と産地を重視。(表1)



(図4)
ろうきんあといっぽ
プロジェクト贈呈書

表1 うるマルシェでのアンケート結果



4.考察・まとめ

- ①廃棄野菜が出る理由の1つ→収穫・販売にこだわると次の作業ができない→「土に返さざる得ない」→高校生の私達がボランティアで収穫から販売まで行い、社会問題に貢献する。
- ②プロGRESS 31さん→「農家さんは作る専門、それ以降は別の人引き継いだ方がいい」→「できる人ができることをする」→循環型社会を作ることに関わりと学ぶ。
- ③「廃棄野菜の削減に取り組む人達の思い」を私達高校生が伝えることも大事だと気づき、次回のベジカラフライデーからそれを伝える工夫をする。